

「Hotel Bristol, A Luxury Collection Hotel, Warsaw」の正面玄関。1901年創業のポーランドを代表する屈指の名門ホテルで、現在はスターウッド系の「ラグジュアリーコレクション」ブランドの傘下にある



ホテル中央エントランスホール。館内は大規模なリノベーションが終わり、スタイリッシュなコンテンポラリーデザインと優雅なアールデコ様式の内装を特徴としている



ホテル・ブリストールは建築家マルコーニによって設計され、20世紀初めに建てられたネオ・ルネッサンス様式のクラシカルな外観だ



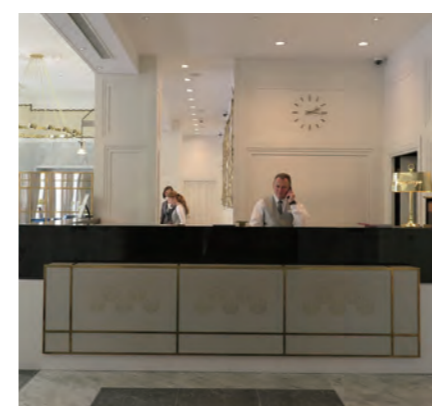
ホテルは旧市街の歴史あるロイヤルルート沿いに位置し、隣接して大統領宮殿があり、ワルシャワ王宮、ワルシャワ大劇場なども徒歩圏内である



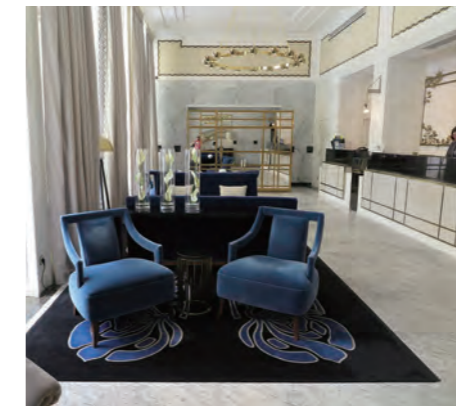
筆者 小原 康裕
ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健樹代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。
www.jhrca.com/worldhotel
現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。私のファーストアルバム「World's Leading Hotels」はお陰様で好評を頂いておりますが、写真集第2弾「World's Prestige Hotels 世界の名門ホテル」を去年6月に発刊いたしました。独自に取材した世界各地の最高峰ホテルを華麗な写真と共に解説しております。ファーストアルバムに引き続きご愛読して頂ければ幸いです。



「Hotel Bristol」の文字が入った制帽が、ドアマンの凛とした空気を出している



スマートなコンシェルジュデスク



レセプションカウンター前のロビーラウンジ

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエグゼクティブが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままに撮ってきた写真を掲載する。

Kempinski Hotel Cathedral Square

「ブリストール」という名前のホテルは世界各地にあるが、パリの「Le Bristol」、ウィーンの「Bristol」など、その都市を代表する一流ホテルであることが多い。ワルシャワのホテル・ブリストールも、1901年創業のポーランドを代表する屈指の名門ホテルだ。現在はスターウッド系の「ラグジュアリーコレクション」の傘下であり、「Hotel Bristol, A Luxury



気品ある中央エントランスホール



ウィーンのカフェをイメージした「Café Bristol」



ファインダイニング「Marconi Restaurant」はホテルを設計した建築家マルコーニにちなんで命名され、アールデコのインテリアを背景にポーランド料理も楽しめる



ホテル中央部に位置した「Deluxe Suite」のリビングルーム。約95㎡の広さを誇るエレガントなコーナースイートである



シェフの Carlos Teixeira 氏が腕を振るう



窓側の席は中庭ガーデンを望める



気品あるベッドルーム



ベッドルームの窓側のコーナー



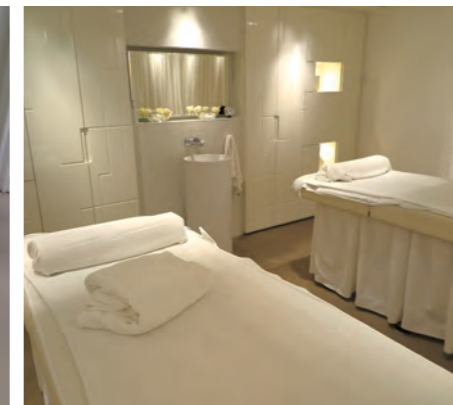
優雅な曲線を描いた長椅子がアールヌーボーの雰囲気醸し出すピアノバー「Column Bar」



サッチャー元首相の公式訪問を記念した大型写真を壁面に掲げた「Bristol Wine Bar」



スパ施設「Bristol Spa」のスイミングプールに続く回廊のイス席



世界的チェーンのESPAが運営し、トリートメントルームも充実している

Collection Hotel, Warsaw」の名称で地元で親しまれている。ホテルとしては、ワルシャワで最も歴史的価値のある建造物の一つと言われる。建築家マルコーニによって設計され20世紀初めに建てられたネオ・ルネッサンス様式のクラシカルな外観だ。

ワルシャワは歴史ある美しき都市であったが、第2次世界大戦による戦火で市内の大半が灰燼に帰した。特に旧市街は完全に破壊されたが、“煉瓦のヒビに至るまで”という市民の熱意が通じ、戦後になって見事に復元され往時の街並みを回復した。1980年、旧市街はユネスコに「ワルシャワ歴史地区」として世界遺産に登録され、2011年には再建に用いられた資料もユネスコ記憶遺産に登録された。

ホテル・ブリストールは41室のスイートを含む全206室を擁する麗しきホテルである。館内は大規模なリノベーションが終わり、スタイリッシュなコンテンポラリーデザインと優雅なアールデコ様式の内装を特徴としている。今回は「Deluxe Suite」を紹介したい。ホテル中央部のコーナーに位置し、約95㎡の広さを誇るエレガントなスイートだ。ファインダイニング「Marconi Restaurant」はホテルを設計した建築家マルコーニにちなんで命名され、シェフの Carlos Teixeira 氏が腕を振るう。メインバー「Column Bar」の内装は、驚くほど前衛的なアールヌーボーのピアノバーだ。また、「Bristol Wine Bar」には壁面にサッチャー元首相の公式訪問を記念した大型写真が掲げられている。その他、ウィーンのカフェをイメージした「Café Bristol」もお勧めである。スパ施設「Bristol Spa」は世界的チェーンのESPAが運営し、トリートメントはもちろん、スイミングプール、トレーニングジムなど充実している。

ホテル・ブリストールは大規模なリノベーション後の1993年に再オープンされ、公式訪問のサッチャー元英国首相によるテープカットが実施された。以後、エリザベス女王など著名人の御用達となっている。旧市街の歴史あるロイヤルルート沿いに位置し、隣接して大統領宮殿があり、ワルシャワ王宮、ワルシャワ大劇場なども徒歩圏内でワルシャワ観光の利便性は極めて大きいホテルだ。